

科目名 (英)	保育の心理学 Psychology of the childcare	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	安達 保雄
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 5限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育園副園長として15年間勤務。保育者(幼稚園教諭・保育士)および社会福祉士として、保育所での実務経験を有する。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育園での豊富な実務経験をともに、子どもの姿と心理学の知識を結びつけて学びます。子どもの立場に立って育ちを理解し、子どもの最善の利益を守る保育者の育成を目指します。							
【到達目標】 1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。 2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。 3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「実践に活かす 保育の心理学」ミネルヴァ書房				【授業外における学習】 専門用語が出てくるので事前学習をきちんとし、授業に備える。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育の心理学として乳幼児の発達について学ぶ意義を理解できる。 【授業内容】 オリエンテーション 1. 発達を学ぶ意義			9	【到達目標】 ピアジェの発達理論を学び、子どもが認知の力をどのように発達させていくのか理解できる。 【授業内容】 認知の発達		
2	【到達目標】 子どもの育ちに遺伝や環境がどう影響するのか理解できる。 【授業内容】 子どもの発達と環境			10	【到達目標】 子どもの言葉の発達過程について学び、保育者としてどのように子どもに関わるのか理解できる。 【授業内容】 言語の発達		
3	【到達目標】 「発達理論」をいくつか紹介し、保育者に必要な発達観、子どもの世界を理解できる。 【授業内容】 発達理論と子ども観・保育観			11	【到達目標】 発達障害について学び、早期発見・早期支援の大切さを理解できる。 【授業内容】 発達障害と発達		
4	【到達目標】 身体と運動機能の発育・発達が子どもの心の発達とどのように関わるのか理解できる。 【授業内容】 身体と運動機能の発育・発達			12	【到達目標】 虐待が子どもの発達に与える影響を学び、保育者として適切な支援を理解できる。 【授業内容】 虐待から考える発達		
5	アタッチメントの重要性について理解できる。 【授業内容】 発達を支えるアタッチメント			13	【到達目標】 心理学における学習理論を学び、実践にいかすための「行動理解」と「技法」について理解できる。 【授業内容】 保育にいかす学習理論		
6	【到達目標】 感情・情動の発達のプロセスを学び、子どもが自分の感情とつきあっているようになるための大人の役割について理解できる。 【授業内容】 自己と感情・情動の発達			14	【到達目標】 遊びの発達に関する研究をいくつか学び、保育場面にみられる遊びの発達とその意義について理解できる。 【授業内容】 遊びの発達		
7	【到達目標】 赤ちゃんにとっての社会や心の理論を学び、幼児の社会性の発達について理解できる。 【授業内容】 社会性の発達			15	【到達目標】 これまでの授業で学習したことをもとに、問題に答えることができる。分からない問題を洗い出し、自分の課題を見つけることができる。 【授業内容】 定期試験、解答解説		
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返り学習を深め、問題に答えることができる。分からない問題を洗い出し、自分の課題を見つけることができる。 【授業内容】 これまでの授業の振り返り、中間試験、解答解説			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 板書したこと等は必ずメモをとる。							

科目名 (英)	情報リテラシー Literacy for information	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大山華奈
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 6限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士として保育現場での実務経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 基本的なITリテラシー学習や、生成AIとchatGPTの使い方を学び、動画やドキュメンテーションの作成をする。また、オンライン実習システムを活用し、日誌の入力や記録の残し方を学ぶ事で、幅広い保育業務について理解を深める事を目的とする。							
【到達目標】 基本的なITリテラシーを身に付けると共に、生成AIやchatGPTを用いて、保育現場で活用する術を身に付ける事を目的とする。 また、実習日誌システムを使用した実習日誌の書き方や、エピソードやドキュメンテーションの作成に挑戦し、現場や実習で活用できる力を養う。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 本科目の到達目標を理解し、授業の全貌をイメージできる。 【授業内容】 授業オリエンテーション			9	【到達目標】 保育現場のICT化について自身の学びをまとめる事ができる。(中間試験) 【授業内容】 PPT、Canva、生成AIを使用し、自身の言葉でまとめる。		
2	【到達目標】 実習システムの仕組みを学ぶ。 【授業内容】 実習オンラインシステムの使い方を知り、正しく扱えるようになる。			10	【到達目標】 保育園行事のねらいを理解し、行事運営の準備をする。 【授業内容】 保育園行事調べ、グループワーク		
3	【到達目標】 PPT、Canva、生成AIの使用について理解する。 【授業内容】 自分のプレゼン資料作成			11	【到達目標】 保育園行事のねらいを理解し、行事運営の準備をする。 【授業内容】 保育園行事調べ、グループワーク		
4	【到達目標】 PPT、Canva、生成AIの使用について理解する。 【授業内容】 自分のプレゼン資料作成			12	【到達目標】 園行事の募集ツールについて理解し、自ら作成出来る。 【授業内容】 夏祭りのチラシ作成		
5	【到達目標】 PPT、Canva、生成AIの使用について理解する。 【授業内容】 自分のプレゼン発表			13	【到達目標】 園行事の募集ツールについて理解し、自ら作成出来る。 【授業内容】 夏祭りのチラシ作成		
6	【到達目標】 PPT、Canva、生成AIを使用し、自身の言葉でまとめる。 【授業内容】 自分のプレゼン発表			14	【到達目標】 園行事の募集ツールについて理解し、自ら作成出来る。(定期試験) 【授業内容】 夏祭りのチラシ作成(提出)		
7	【到達目標】 保育現場のICT化の流れを理解する。 【授業内容】 コドモンの使用について			15	【到達目標】 学びを振り返り、後期に繋げることができる。 【授業内容】 前期授業の振り返り		
8	【到達目標】 保育現場のICT化の流れを理解する。 【授業内容】 ドキュメンテーションについて			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	乳児保育 I Infant nursing Care I	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	八木 ゆかり
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 7限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
障がい児者施設、保育所保育士、保育園園長、保育アドバイザー、保護者支援等「保育・教育・福祉」分野での経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
「保育・教育・福祉」分野での経験を活かし、現場力(柔軟な対応、実践的な支援・チーム力等)の知識・技術をグループワーク・実践事例を中心に習得できる授業を行う。保育の現場で求められる「何をどのように行うか」などの技術だけではなく「何故そうするのか」「何を行うことが乳児に取っての発達援助なのか」など根拠をもって行うことの重要性を理解する。子どもの生活とあそびが豊かになるような環境を考え説明できる。個人差・月齢差を考慮した集団における具体的な配慮事項を考え述べることができる。							
【到達目標】							
1. 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				授業の振り返りとして、日常の中で3歳未満児に関わる機会を作ったり、意識して観察する			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 乳児保育を学ぶ心構えができる。「乳児保育とは何か」「保育現場での乳児とは」「乳児保育の重要性」を知る。 【授業内容】 授業オリエンテーション(授業の進め方を知る)。乳児保育に必要な基礎的な知識を獲得し、乳児に携わる喜びや意義を理解する。			9	【到達目標】 2～3歳の子どもの育ちと保育の内容について理解する 【授業内容】 身体、表現、心と言葉の育ちについて学ぶ(グループワーク)		
2	【到達目標】 乳児保育の中で行われている養護的な要素と教育的な要素について理解し、それぞれを一体的に展開することの意義を理解する。 【授業内容】 保育所保育指針 第2章1「乳児保育に関するねらい及び内容」における0歳児「3つの視点」と1、2歳児の5領域の違いを知る(グループワーク)			10	【到達目標】 乳児保育における指導計画を作成する 【授業内容】 期別指導計画を作成する(グループ活動)		
3	【到達目標】 6か月未満の子どもの育ちと保育の内容について理解する(Ⅰ) 【授業内容】 身体、表現の育ち・心と言葉の芽生えについて学ぶ(グループワーク)			11	【到達目標】 観察、記録及び自己評価について理解する 【授業内容】 実際の指導案を元に自己評価について考える(グループワーク)		
4	【到達目標】 6か月未満の子どもの育ちと保育の内容について理解する(Ⅱ) 【授業内容】 0～3歳の発達の過程(運動機能と人との関係)について学ぶ(グループワーク)			12	【到達目標】 子どもの生活と遊びが豊かになる環境とは何かを知る(Ⅰ) 【授業内容】 絵本、紙芝居などをもとに素話を考える(グループワーク)		
5	【到達目標】 6か月以上1歳未満の子どもの育ちと保育の内容について理解する(Ⅰ) 【授業内容】 身体、表現の育ち・心と言葉の芽生えについて学ぶ(グループワーク)			13	【到達目標】 子どもの生活と遊びが豊かになる環境とは何かを知る(Ⅱ) 【授業内容】 12回目の授業で考えた素話を発表する(グループ毎に発表)		
6	【到達目標】 6か月以上1歳未満の子どもの育ちと保育の内容について理解する(Ⅱ) 【授業内容】 睡眠、排泄、離乳の開始、衣服と着替えについて学ぶ(グループワーク)			14	【到達目標】 集団の中の「1人ひとり」を大切に保育とは何かを理解する 【授業内容】 現場の事例を基に考える(グループワーク)		
7	【到達目標】 1歳児以上2歳未満の子どもの育ちと保育の内容について理解する(Ⅰ) 【授業内容】 睡眠、食事、排泄、トイレトレーニング、着替え、安全、遊びについて学ぶ(グループワーク)			15	【到達目標】 これまでの14回の授業を振り返り、理解できなかった事柄を取り上げ確認する 【授業内容】 ・定期試験 ・定期試験の振り返り		
8	【到達目標】 1回目～7回目までの内容を理解し、学びを深める 【授業内容】 ・中テスト ・中テストの振り返り			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 毎回の授業3歳未満児の保育(乳児保育)について理解しようと意識を持ち、積極的に発言する							

科目名 (英)	図工 Arts and crafts education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	川口 麗
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 5・6限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 美術科修士課程修了。美大予備校、カルチャー教室、自宅アトリエ、幼稚園アート教室にて、大人や子どもの創作活動に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、子どもの表現力や創造力を育むための基礎知識を学ぶ制作演習である。 美術教育の立場から、現状や観点を伝える。							
【到達目標】 ・発達段階に応じた絵画造形の基礎を学び、創作活動を適切に指導する技術を身に付ける。 ・材料や画材の知識を深め、表現に適した選択ができる。 ・表現の楽しさを学び、伝えることができる。他者の表現に寄り添うことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 教員の指示に従い準備をすること(スケッチブック、画材など)				【授業外における学習】 想像力を広げたい。日常の中で興味深く観察する視点を持ち制作に活かす。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 授業の進行方法、評価基準を理解する。 子供の表現と保育士の関わりを把握する。 【授業内容】 講義、演習「自己紹介カード記入」			9	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究③スクラッチ」		
2	【到達目標】 色の特徴を知る。 【授業内容】 演習「色の三原色」			10	【到達目標】 質の違いから生まれる美への意識を深め、技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究④パチック・フロッターージュ」		
3	【到達目標】 効果的な色の配置を知る。 【授業内容】 演習「補色・同系色」			11	【到達目標】 パネルシアターの特性を理解し、制作する。 【授業内容】 演習 ①パネルシアターの台本決定、下描き。講師による実演。		
4	【到達目標】 色の効果・性質・種類を知る。 【授業内容】 演習「暖色・寒色・その他の色」			12	【到達目標】 パネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ②色塗り。		
5	【到達目標】 描画表現の基礎を知る。 【授業内容】 演習「静物デッサン」「人体デッサン」			13	【到達目標】 パネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ③色塗り。		
6	【到達目標】 描画表現に必要な要素、伝え方を知る。 【授業内容】 演習「情景描写」			14	【到達目標】 子どもの視点を考えながら、色彩豊かにパネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ④色塗り。		
7	【到達目標】 偶然性の美と意図的な線を組み合わせ表現する。 【授業内容】 演習「技法研究①スタンピング・パブルアート・マスキング」			15	【到達目標】 丁寧にパーツを仕上げ、パネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ⑤色塗り、裁断、パーツの完成。定期試験。		
8	【到達目標】 偶然性の美と技法について知る。 【授業内容】 演習「技法研究②デカルコマニー・ドリップング・糸引き」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 他者の表現に興味を持ち観察してみよう。							

科目名 (英)	音楽 Music	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	浅子 元・柿沼 秀子
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 5・6限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士養成校にて24年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を16年行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、音楽的基礎力(楽典)に注力し保育者として必要とされる音楽技術を学ぶ。基本、毎回の授業でピアノの練習とレッスンをを行い、前期でバイエルピアノ教則本の50番までを仕上げることを目指す。							
【到達目標】							
・保育者、教育者として必要な基礎的な音楽の技術と理論を習得する。 ・「ピアノを使って楽しく音楽が指導できる人を養成する」を授業の目標とする。 ・バイエルピアノ教則本50番まで習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「こどものうた200」チャイルド社 ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社				必要な事項は次回の授業までに十分習得しておくことを求めます。ピアノは毎日少しでも練習を積むことが必要です。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い年間の到達目標を理解する。 【授業内容】 年間到達目標を理解する。ト音記号・ヘ音記号の読み方に慣れる。音楽課題曲リストの使用法を理解する。			9	【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けが出来る。生活の歌「おかたづけ」の習得。 【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G)が理解でき伴奏付けが出来るようになる。生活の歌「おかたづけ」の練習。「あめふりくまのこ」。		
2	【到達目標】 季節の歌の歌唱、楽典の重要性について。 【授業内容】 「めだかのがっこう」が歌える。コード・ネームの基本を学習する。「こいのぼり」。			10	【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けが出来る(応用編)。生活の歌「おかたづけ」の習得。 【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G)が理解でき伴奏付けが出来るようになる。「あめふりくまのこ」、「たなばたさま」。		
3	【到達目標】 ピアノ曲の習得、コード・ネームの基礎。 【授業内容】 ピアノ曲を1曲弾くことが出来る。コード・ネームの基本を学習する。「おかあさん」。			11	【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けが出来る(応用編)。生活の歌「おべんとう」の習得。 【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G, D, A)が理解でき伴奏付けが出来るようになる。「たなばたさま」、「うみ」。		
4	【到達目標】 楽典(楽譜の理解)。 【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「ぶんぶんぶん」。			12	【到達目標】 前期定期試験の準備を始める。生活の歌「おかえりのうた」の習得。 【授業内容】 前期試験を展望したピアノ曲の習得。「おつかいありさん」、「シャボン玉」。		
5	【到達目標】 楽典、保育活動における「生活の歌」の理解。 【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「はをみがきましょう」。			13	【到達目標】 季節の歌(夏)を習得し、1曲弾き歌いが出来る。 【授業内容】 季節の歌「夏」の習得、弾き歌い。定期試験の試験曲を決める。「おぼけなんてないさ」。		
6	【到達目標】 楽典、保育活動における「生活の歌」の理解。 【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「かわいいかくれんぼ」。			14	【到達目標】 前期定期試験の準備とリハーサル。 【授業内容】 前期定期試験のピアノ曲と弾き歌い曲の練習と習得。「アイスクリームのうた」。		
7	【到達目標】 生活の歌、打楽器の奏法理解。 【授業内容】 打楽器の正しい演奏法が分かる。「かたつむり」。			15	【到達目標】 定期試験を行い、前期の到達度を理解する。 【授業内容】 前期で学習したピアノ曲1曲と、季節の歌ピアノ演奏の計2曲を演奏する。		
8	【到達目標】 中間試験を行い、前期前半の到達度を理解する。 【授業内容】 前期前半部の目標が達成できている(ピアノと楽典)。「音名とコードネーム」の理解ができる。「すてきなパパ」、「とけいのうた」。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	英会話 English Conversation	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 7限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営に携わった経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
日常で使う英語表現を学びながら、保育士・幼稚園教諭が現場で必要とする英語・英会話に特化した学習を行う。具体的には、幼児教育で使われる英語表現、英語の歌、英語のゲーム、パンフレット作成、保育現場で想定される英会話、英語の読み聞かせ・紙芝居、英語を用いた製作活動、英語劇などである。また校外に出て英語でインタビュー、動画作成などをすることもある。							
【到達目標】							
・外国語学習を通して、異言語や異文化への抵抗意識が少なくなる。 ・日常会話および児童福祉分野に関する基礎的な英会話力を習得する。 ・外国語学習や活動を通して、異なったものを認め、それを受け入れる態度を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
必要資料は授業時に教員が配付する。授業後に個人の所有物になる制作作品については各自材料の準備を願う。決められたテキスト等の使用はない。				予習や復習、資料準備・制作材料などは事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 英語で簡単な自己紹介やゲーム、歌を楽しむことができる。保育園・幼稚園・児童施設における英語教育・活動の現状を知る。 【授業内容】 翻訳機能の使い方、英語で自己紹介、ゲーム、や歌に取り組む。(カードゲーム・サイコロゲーム) 歌: どんないろがすき、つばさをください 他			9	【到達目標】 ちょっと英会話「レストラン編」を英語で演じる。 【授業内容】 台本を工夫して作り、役割を決めて、練習をする。 歌: 適時決定		
2	【到達目標】 英語で子ども向け、成人向けの歌やゲームを考えて、楽しい活動を行うことができる。 【授業内容】 英語のゲーム、歌等を楽しむ。(Who am I? 早押しゲーム・すごろくゲーム) 歌: どんないろがすき、つばさをください 他			10	【到達目標】 ちょっと英会話「レストラン編」を英語で演じる。 歌: 適時決定 【授業内容】 台本を工夫して作り、役割を決めて、練習をする。		
3	【到達目標】 英語で昔話を楽しみながら読むことができる。 「おおきなかぶ」 【授業内容】 英語の歌をうたう。昔話を英語で読む。 歌: ゆめをかなえてドラえもん 他			11	【到達目標】 ちょっと英会話「レストラン編」を英語で演じる。 歌: 適時決定 【授業内容】 台本を工夫して作り、役割を決めて、練習をする。		
4	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 歌: はらべこあむし 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。			12	【到達目標】 完成した劇を動画で撮影することができる。 歌: 適時決定 【授業内容】 劇を動画で撮影する。		
5	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 歌: はらべこあむし 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。			13	【到達目標】 地域の文化・観光地等を紹介する英語のパンフレットを制作し、作ったパンフレットをもとに発表することができる。 【授業内容】 パンフレット作り(キャンパ) ※キャンパ使用法を覚える		
6	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 歌: はらべこあむし 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。			14	【到達目標】 地域の文化・観光地等を紹介する英語のパンフレットを制作し、作ったパンフレットをもとに発表することができる。 【授業内容】 パンフレット作りと発表(キャンパ)		
7	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 歌: はらべこあむし 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。			15	【到達目標】 地域の文化・観光地等を紹介する英語のパンフレットを制作し、作ったパンフレットをもとに発表することができる。 【授業内容】 パンフレット作りと発表(キャンパ) 定期テストは、作成したパンフレットと前期の内容での試験で行う		
8	【到達目標】 「はらべこあおむし」の大型絵本を使って英語の読み聞かせができる。 【授業内容】 読み聞かせの動画を撮影して、それを中間テストにする。 歌のテスト: はらべこあおむし			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。							

科目名 (英)	総合福祉技術(点字) Study for Braille	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	天野 亨
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	15	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 5限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 視覚しょうがい者で盲導犬と歩いています。長年点字を使い、学習・読書・点字楽譜を使って音楽の勉強もしてきました。点字や日本語の魅力をお伝えします。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) この授業では、友人と文通ができる程度の点字の読み書きを学ぶと共に、視覚しょうがいについての理解を深めていきます。							
【到達目標】 基本的な点字の学習を通じて、日本語を別の角度からとらえ返すと共に、それを使用する視覚しょうがい者のハンディキャップについての理解を深める。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「視覚障害者介護技術シリーズ1 初めての点訳 第3版」 ・点字器				【授業外における学習】 学習内容の予習・復習			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 名前を書こう 【授業内容】 点字器の正しい使い方と、点字の50音を理解しよう。			9	【到達目標】 形式名詞を学ぼう 【授業内容】 形式名詞について理解しよう。		
2	【到達目標】 単語を書こう 【授業内容】 点字で単語を正しく書こう。			10	【到達目標】 三つのハンディキャップについて理解しよう 【授業内容】 視覚しょうがい者のハンディキャップについて学ぼう。		
3	【到達目標】 数字とアルファベット 【授業内容】 点字の法則と数字・アルファベットとの関連性について学ぼう。			11	【到達目標】 盲導犬について知ろう 【授業内容】 盲導犬の仕事や、その主人との関係について考えよう。		
4	【到達目標】 付属語について 【授業内容】 自立語と付属語について学ぼう。			12	【到達目標】 こ・そ・あ・ど言葉について 【授業内容】 連体詞・副詞について学ぼう。		
5	【到達目標】 文章を書こう 【授業内容】 短い文章を正しい仮名使いで書こう。			13	【到達目標】 「ない」について理解しよう 【授業内容】 「ない」と言う言葉について学ぼう。		
6	【到達目標】 文節分から書き 【授業内容】 文節分から書きについての理解を深めよう。			14	【到達目標】 終了作品を作ろう。 【授業内容】 点字授業の最後にあたり、終了作品を作ろう。		
7	【到達目標】 補助動詞 【授業内容】 補助動詞について学ぼう。			15	【到達目標】 テスト 【授業内容】 今まで習得した点字の技術を評価するための試験と振り返り。		
8	【到達目標】 振り返りとテスト 【授業内容】 今まで習得した点字の技術を評価するための試験と振り返り。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育原理 Nursery School Instruction Research	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	森 静子
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 6限
学科・コース	保育士科(夜間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
長年の保育所勤務を通し、現場と専門知識をつなぐ学びが重要と保育者養成に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、保育の本質や目的、制度や歴史、保育の現状について学ぶ基礎的な科目である。保育所保育指針をもとに、今の子どもや家庭の様子などをタイアップさせながら実践的に理解を深めていく。							
【到達目標】							
・保育に関する法令及び制度を理解し、保育の基礎・基本理念、意義および目的について理解することができる。 ・保育所保育指針における保育の基本について理解し、保育の在り方や保育者の役割について理解することができる。 ・保育の歴史の変遷や思想を学ぶとともに、保育の現状や課題について考えることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>」チャイルド本社				【授業外における学習】 教科書の担当する章を予習し発表準備をする。自らの理解と疑問を意識するとともに、保育者としての指導力を高める。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育の理念と概念について考え、話し合い、理解することができる。 【授業内容】 オリエンテーション、保育の理念と概念			9	【到達目標】 1歳以上3歳未満児の保育における基本的事項、保育の実施にかかわる配慮を理解することができる。 【授業内容】 1歳以上3歳未満児の保育		
2	【到達目標】 保育所が果たす社会的な意義と役割、責任について理解することができる。 【授業内容】 保育の社会的役割と責任			10	【到達目標】 3歳以上児の保育の基礎を理解し幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)を保育の場面と繋げてイメージできる。 【授業内容】 3歳以上児の保育		
3	【到達目標】 子ども・子育て支援制度の概要と保育に関わる関係法令を理解することができる。 【授業内容】 子ども・子育て支援制度と保育にかかわる関係法令 施設型保育、地域型保育、地域・子ども子育て支援事業について			11	【到達目標】 保育における計画の重要性と種類、作成における観点について理解する。 【授業内容】 子ども理解に基づく保育の過程①理論編		
4	【到達目標】 支給認定の内容と利用できる保育施設について理解することができる。 【授業内容】 保育の実施体系			12	【到達目標】 保育実践記録の活用方法を保育の現場をイメージしながら理解できる。長期指導計画と短期指導計画作成の流れを理解できる。 【授業内容】 子ども理解に基づく保育の過程②実践編		
5	【到達目標】 保育所保育指針とは何か、内容と制度的位置づけを理解することができる。 【授業内容】 保育所保育指針に基づく保育			13	【到達目標】 諸外国と日本の保育の思想と歴史について関心を持ち、思想と実践を結びつけて理解できる。 【授業内容】 諸外国の保育の思想と歴史 日本の保育の思想と歴史		
6	【到達目標】 保育の目標と方法の内容を理解することができる。乳幼児期の「遊び」と小学校以降の「学び」の関連を考え、理解することができる。 【授業内容】 保育の目標と方法			14	【到達目標】 諸外国と日本の保育の現状と課題を理解し、課題のなかで自分ができることを見つける。 【授業内容】 諸外国の保育の現状と課題 日本の保育の現状と課題		
7	【到達目標】 乳児保育にかかわるねらいと内容を理解できる。子育てを支援する重要性について考え理解を深めることができる。 【授業内容】 乳児の保育			15	【到達目標】 これまでの授業を振り返り問題に答えることができる。 わからない問題を整理し自分の学習課題を見つけることができる。 【授業内容】 第9回～第14回の中間試験と解答解説		
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返り問題に答えることができる。 わからない問題を整理し自分の学習課題を見つけることができる。 【授業内容】 第1回～第7回の中間試験と解答解説			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 毎回の授業で必要に応じて保育所保育指針ハンドブックを使用する。							

科目名 (英)	保育者論 Nursery teacher theory	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	遠藤 美樹
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 7限
学科・コース	保育士科(夜間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士資格、幼稚園教諭取得後、保育園で10年勤務し2024年から埼玉福祉保育医療専門学校の保育科で保育内容演習、保育内容実践の授業経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育者とは何か、自信が将来目指す保育者増を描くことが出来るようになる。また、北社の役割と責務について理解し、保育、幼児教育に関わる者としての意欲の橋上を図る。							
【到達目標】 1. 保育者の役割と倫理について理解する。2. 保育士の制度的な位置づけを理解する。3. 保育士の専門性について考察し、理解する。4. 保育者の連携・協働について理解する。5. 保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 新・基本保育シリーズ7 保育者論				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 オリエンテーション 保育者の役割や資質について知る。 【授業内容】 オリエンテーション(自己紹介シアター) 保育者の役割・資質について			9	【到達目標】 家庭と保護者に対する支援の重要性、関係機関との連携について知る。 【授業内容】 家庭との連携と保護者に対する支援について 事例を基にグループワークを行う		
2	【到達目標】 ①実際に行った保育の現場を体験し、養護と教育、指導案についての繋がりを学ぶ。 【授業内容】 養護及び教育の一体展開 保育の現場を体験する(朝の会～3歳児こいのぼり制作)			10	【到達目標】 絵本を読む際のポイントを踏まえ仲間の前で読んでみる。 第三者からの評価を受け止め、次回に活かす。 【授業内容】 絵本紹介(子ども向け・保護者向け)・読み聞かせ		
3	【到達目標】 ②実際に行った保育現場を体験し、養護と教育を展開するための関係を知る。 【授業内容】 養護及び教育の一体展開・玩具の選択 保育の現場を体験する(ルール遊び～帰りの会)			11	【到達目標】 前月の子どもの様子から7月の月案を作成する。 養護や教育を踏まえた内容を考え、書類の文法に慣れる。 【授業内容】 月案作成 食育について		
4	【到達目標】 ①保育の実践とその評価について理解する。 【授業内容】 計画に基づく保育の実践と省察・評価について ドキュメンテーション作成			12	【到達目標】 月案を基に週案を作成する。 【授業内容】 週案作成		
5	【到達目標】 ①保育の実践とその評価について理解する。 保育者の論理について知る。 【授業内容】 計画に基づく保育の実践と省察・評価について ドキュメンテーション作成			13	【到達目標】 養護及び教育を踏まえ、日案を作成する。 【授業内容】 日案作成		
6	【到達目標】 手遊びのねらいやいつどの場面で使うかを知る。 表情や声色など意識するポイントを学ぶ。 【授業内容】 手遊びのねらい・種類について			14	【到達目標】 遊びや絵本のねらいや読む要点を意識し実践を行う。 保育者としての資質を意識する。 【授業内容】 定期試験:保育実践(手遊び→絵本) 第三者からの評価を基に自己評価を行う。		
7	【到達目標】 地域社会との連携について理解する。 【授業内容】 地域社会との連携・協働 実際の日案訓練映像視聴			15	【到達目標】 遊びや絵本のねらいや読む要点を意識し実践を行う。 保育者としての資質を意識する。 【授業内容】 定期試験:保育実践(手遊び→絵本) 第三者からの評価を基に自己評価を行う。		
8	【到達目標】 絵本の選び方・読み聞かせの際意識するポイントを知る。 授業1～8を振り返り、中間試験を行う。 【授業内容】 絵本の紹介・読み聞かせ 中間試験:学習したことを振り返り、テストに臨む。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	総合福祉技術(手話) Sign Language	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	高須一美
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	15	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 5限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
企業研修や学校・保育現場、病院・講演会・TV政見放送通訳等。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
保育園や幼稚園等、現場で使える手話を表現できるように指導する。聞こえないことに対しての理解を深め、コミュニケーションスキルの一つとしての手話を体得する。実習の要素を多く取り入れ、学生が自分で実践出来るように指導を進める。							
【到達目標】							
保育園や幼稚園等の教育現場で使える手話表現を身に付ける。保護者に対して、子どもに対して手話を伝えていける保育士となれる様な学びの場とする。言葉のみに頼らず手話・口話・身振り・筆談等が自然に出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 手話テキスト I				【授業外における学習】 予習は特に必要ないが、授業で覚えた内容は復習して、次の授業でわからないことは質問できるように心掛けて欲しい。一人ひとりが授業の主人公になる。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 手話について理解する。挨拶の手話を覚える。 【授業内容】 手話とはどのような言葉なのか理解する。実際に自ら手を動かして表現することに慣れる。			9	【到達目標】 疑問詞Ⅰ 何・どこ・どっち の表現を覚える。 【授業内容】 疑問詞を学び、問う、答えるのコミュニケーションの形を取って、やり取りができるようにする。学生同士で会話をしてみる。		
2	【到達目標】 自分の名前が、手話で表現できるようになる。 【授業内容】 名字の表現方法を身に付ける。名乗れる、尋ねる事ができるようにする。			10	【到達目標】 疑問詞Ⅱ いくつ・いくら・いつ・何故・どのように の表現を覚える。 【授業内容】 学生同士で学んだ疑問詞を使って会話が出来るように演習を進める。		
3	【到達目標】 指文字(50音)の表現が出来るようになる。自分の名前が表現出来るようになる。 【授業内容】 〈あ〜ん〉までの表現方法を学び、実際に自分の名前、固有名詞の表現が出来るように、覚え方も解説して進める。			11	【到達目標】 現場を想定した会話が出来るようになる。 【授業内容】 資料を使って、現場を想定して、簡単なやりとりができるようにする。		
4	【到達目標】 数字の表現方法を覚える。日時や金額の表現が出来るようになる。 【授業内容】 〈1〜万〉の単位まで、数字を表現する方法を学ぶ。色々なものの表現をしてみる。			12	【到達目標】 歌に手話を付けて歌えるようになる。(参考:『さんぽ』『にじ』『はじめの一歩』等) 【授業内容】 保育園で楽しく歌えるような歌に手話を付けて歌う。単語の説明や歌詞の翻訳についても解説する。		
5	【到達目標】 聴覚障がいについて理解する。障がいとはどのようなことか、他の障がいについても理解する。 【授業内容】 映像を視聴して、聴覚障がいについて考える。コミュニケーションについて考える。			13	【到達目標】 歌に手話を付ける(物語を手話で語る) 【授業内容】 事前に学生の希望を取り、歌に手話を付けるか、物語を手話で語るかを決定する。		
6	【到達目標】 時制についての表現方法を覚える。曜日の表現方法を覚える。 【授業内容】 今日・明日・来週等の覚えた単語を使って、日常会話の短文の表現が出来るようにする。			14	【到達目標】 1回から13回までの総復習。今後の手話への関りについて考える。 【授業内容】 簡単な手話表現が出来るようになったことを確認する。全体的な質問を受ける。今後の手話学習について情報を提供する。		
7	【到達目標】 1回から6回目までの復習。 【授業内容】 自分の苦手な所はどこなのかを知り、それぞれが苦手な部分を克服して、後半の講義に臨めるようにする。中間試験に備える。			15	【到達目標】 定期末試験 【授業内容】 定期末試験(手話の読み取り試験) 60点問題		
8	【到達目標】 中間試験 【授業内容】 中間試験(手話の読み取り試験) 15点問題			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100〜90点＝A評価 点数 89〜80点＝B評価 点数 79〜70点＝C評価 点数 69〜60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 学生全員が、自ら積極的に授業に参加できるような雰囲気を作っていきたい。遠慮することなく、分からないことは、すぐに質問できるような授業にしたい。							

科目名 (英)	社会福祉 trainig for nursery stuff	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	小熊 永枝
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 6限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
児童養護施設に勤務して29年目。休日は社会福祉士として、ホームレス支援、居住支援、成年後見、子ども食堂などの活動を行っている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は社会福祉の意義と歴史の変遷、制度や実施体系について学ぶ。また、相談援助、利用者の保護に関わる仕組みについても理解し、現代社会の動向や課題について主体的に考察する視点を養う。							
【到達目標】							
1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。2. 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。3. 社会福祉における相談援助について理解する。4. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。5. 社会福祉の動向と課題について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「新基本保育シリーズ④社会福祉」中央法規				【授業外における学習】 授業を受けるに当たり、専門用語の下調べなどの予習や授業後の復習を行い、授業内容を深く理解する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史の変遷			9	【到達目標】 相談援助の対象や援助過程を学び、援助者として必要な態度や姿勢を理解する。 【授業内容】 相談援助の対象と過程		
2	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史の変遷			10	【到達目標】 保育現場における相談援助の個々の方法と技術について理解する。 【授業内容】 相談援助の方法と技術		
3	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史の変遷			11	【到達目標】 権利擁護や苦情解決の仕組みを学び、第三者評価や情報公開などサービスの質を担保する仕組みを理解する。 【授業内容】 社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ		
4	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史の変遷			12	【到達目標】 我が国の少子高齢化の現状を知り、少子化対策の展開と保育所の役割を理解する。 【授業内容】 少子高齢化社会における子育て支援		
5	【到達目標】 社会福祉分野(対人援助)における専門職の役割を学び、関係職種や地域との連携の大切さについて理解する。 【授業内容】 社会福祉の専門職			13	【到達目標】 我が国の障害者の現状や地域福祉の考え方から保育士に期待される役割について理解する。また先進諸国の歴史と動向を知る。 【授業内容】 障害者施策、在宅福祉・地域福祉の推進		
6	【到達目標】 社会保障制度の概要を学び、子育て世代とそれを支える仕組みについて理解する。 【授業内容】 社会保障および関連制度の概要			14	【到達目標】 これまでの授業で得た知識を定着させるために、内容をふりかえる。 【授業内容】 社会福祉概要		
7	【到達目標】 保育士が子どもの家族とかかわる際に用いる相談援助の理論について理解する。 【授業内容】 相談援助の理論			15	【到達目標】 授業で学んだことを踏まえ、問題に答えることができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 相談援助の意義と機能について学び、専門職としての「相談援助」とは何かを理解する。 【授業内容】 相談援助の意義と機能			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	子どもの保健 Health care for infant	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	皆川 紘子
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 7限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 救急看護認定看護師として新生児・乳児・幼児の看護に携わり、虐待対応や保護者対応、保育園へ訪問し保育士に対する指導などに携わっている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 現場での経験と知識を生かし、保育士として子どもの健康の保持増進に必要な知識や技術の基礎を習得するための講義を行う。安心して安全が保障される保育を実施するために、子どもの命を預かる重要性和責任を自覚し、理解を深めてほしい。							
【到達目標】 1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。2. 子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。3. 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。4. 子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 医療専門用語や難しい内容も多いので事前学習や予習をして講義を受け、毎回の「小テスト」を繰り返し行い学習内容の定着を目指して下さい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 子どもの心身の健康と保健の意義を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもの保健活動の意義と目的 健康指標 子どもの保健の現状と課題			9	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 感染予防		
2	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 成長発達の一般的原則			10	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 子どもに多い感染症とその対処		
3	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 形態的発達			11	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 集団生活における感染症発症時の対処		
4	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 運動機能の発達			12	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 予防接種		
5	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 精神機能の発達			13	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 その他の急性・慢性疾患とその対処		
6	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 生理的機能の発達			14	【到達目標】 児童虐待について学び理解することができる。 【授業内容】 児童虐待の定義・予防・対処		
7	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 発育評価			15	【到達目標】 授業の内容の理解を深め定着することができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 子どもが病気にかかりやすい理由 中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】 授業内容により実技の追加や複数回で学習する内容に関しては変更もあるため授業コマシラバスを参考にしてください。							

科目名 (英)	保育内容の理解と方法 Understanding and method for Childcare contents	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大山華奈
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 集中
学科・コース	保育士科(夜間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士として保育園勤務の経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、保育者が担う業務を理解し、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が計画・実践・振り返りを行い、実践的に学ぶ科目である。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。また、グループワークを通じて保育現場で必要な相互理解の力を養って欲しい。							
【到達目標】							
・保育現場の実際や実態を学び、保育の基本や保育者の役割を理解することができる。 ・子どもの発達や保育の環境、内容を理解したうえで、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 ・保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領原本』				【授業外における学習】 校外授業・レポート			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 4月6日 (5限)	【到達目標】 クラスの仲間と共通の認識をもって、ひとつの課題に取り組む。(保育現場で求められるチームワークについて) 【授業内容】 自己紹介			9	【到達目標】 入学からの1年間について、先輩からの振り返りを基に先の見通しを持つことができる。 【授業内容】 1・2年生合同授業。		
2	【到達目標】 クラスの仲間と共通の認識をもって、ひとつの課題に取り組む。(保育現場で求められるチームワークについて) 【授業内容】 授業オリエンテーション			10 4月30日 (1限)	【到達目標】 戸外活動を計画し、実施した記録を動画に残す。 【授業内容】 戸外活動(大宮公園)での遊びの計画(グループワーク)		
3	【到達目標】 クラスの仲間と目指す、2年後のゴール(目標)を定める。(複数の保育者で運営されるクラス作りについて) 【授業内容】 目標決め、グループワーク			11	【到達目標】 戸外活動を計画し、実施した記録を動画に残す。 【授業内容】 戸外活動(大宮公園)での遊びの記録(グループワーク)		
4 4月7日 (5限)	【到達目標】 保育園の生活について知る。(4月の保育園はどんな様子?) 【授業内容】 保育園の様子を疑似体験・グループワーク			12	【到達目標】 戸外活動を計画し、実施した記録を動画に残す。 【授業内容】 戸外活動(大宮公園)での遊びの記録(グループワーク)		
5	【到達目標】 保育園の生活について知る。(4月の保育園はどんな様子?) 【授業内容】 グループワーク			13	【到達目標】 戸外活動の計画・記録を基に、エピソード記録を書くことが出来る。 【授業内容】 エピソード記録の書き方について(実際にエピソード記録記入)		
6	【到達目標】 W&S制度について理解し、保育補助アルバイトの準備ができる。 【授業内容】 ワークシート・ポートフォリオ作成			14	【到達目標】 戸外活動の計画・記録を基に、エピソード記録を書くことが出来る。 【授業内容】 エピソード記録の書き方について(実際にエピソード記録記入)		
7 4月10日 (5限)	【到達目標】 さくらグループのW&S説明会に参加し、保育補助業務への理解を深める。 【授業内容】 さくらグループのW&S説明会			15	【到達目標】 保育所インターンシップの準備を行い、実施の目的を定める事が出来る。 【授業内容】 インターン準備(ワークシート)・ポートフォリオ作成		
8	【到達目標】 さくらグループのW&S説明会に参加し、保育補助業務への理解を深める。 【授業内容】 さくらグループのW&S説明会			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early Childhood Care and Education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大山華奈
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士資格をもつ保育現場の現職員が授業を行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、保育現場の実情や特色、保育の取り組みについて実践を通して学び、保育職と子どもの理解に繋がる事を目的とした科目である。実際の保育現場にて保育補助業務を行い、実践を通して得てきた学びを共有し、各々の保育に対する学びを深めていってほしい。							
【到達目標】 ①総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 ②保育所保育指針における乳児保育の3つの視点と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域を通して捉え、保育の内容について具体的に理解する。 ③子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉ええるとともに、保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。 ④環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程の実践について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 「幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領原本」				【授業外における学習】 校外授業・レポート			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 5月1日	【到達目標】 実際の保育現場に赴き、実践を通して職への理解を深める。 【授業内容】 保育観察、実践			9	【到達目標】 保育所での学びを振り返り、システムに記録を残す事が出来る。 【授業内容】 5月1日の記録入力、振り返り共有、ポートフォリオ作成		
2	【到達目標】 実際の保育現場に赴き、実践を通して職への理解を深める。 【授業内容】 保育観察、実践			10	【到達目標】 2園目の保育所インターンについて調べ、準備をすることが出来る。 【授業内容】 インターン先の園調べ、グループ共有		
3	【到達目標】 実際の保育現場に赴き、実践を通して職への理解を深める。 【授業内容】 保育観察、実践			11 5月8日	【到達目標】 実際の保育現場に赴き、実践を通して職への理解を深める。 【授業内容】 保育観察、実践		
4	【到達目標】 保育実践から得た学びを仲間と共有し、自身の振り返りから次への課題を発見できる。 【授業内容】 現場実践振り返り(グループワーク)			12	【到達目標】 実際の保育現場に赴き、実践を通して職への理解を深める。 【授業内容】 保育観察、実践		
5	【到達目標】 保育実践から得た学びを仲間と共有し、自身の振り返りから次への課題を発見できる。 【授業内容】 現場実践振り返り(グループワーク)・ポートフォリオ作成			13	【到達目標】 実際の保育現場に赴き、実践を通して職への理解を深める。 【授業内容】 保育観察、実践		
6 5月7日	【到達目標】 保育所で学んだゲーム、手遊び、絵本の共有を通して、自身の学びを深める。 【授業内容】 グループワーク			14	【到達目標】 保育実践から得た学びを仲間と共有し、自身の振り返りから次への課題を発見できる。 【授業内容】 現場実践振り返り(グループワーク)		
7	【到達目標】 保育所で学んだゲーム、手遊び、絵本の共有を通して、自身の学びを深める。 【授業内容】 グループワーク			15	【到達目標】 保育実践から得た学びを仲間と共有し、自身の振り返りから次への課題を発見できる。 【授業内容】 現場実践振り返り(グループワーク)・ポートフォリオ作成		
8	【到達目標】 保育所での学びを振り返り、システムに記録を残す事が出来る。 【授業内容】 5月1日の記録入力、振り返り共有			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early Childhood Care and Education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大山華奈 遠藤美樹
	学科・コース 保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士として保育現場での実務経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、保育所保育指針における「保育の目標」等を理解し、保育内容について全体的な構造を学ぶ。保育園の年中行事を模擬実践することで、子どもの発達に合わせた保育の計画・実践・評価について実践的に学び、保育や子ども理解を深めていく。							
【到達目標】 ①保育所保育指針における「保育の目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解し、保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。 ②保育内容の歴史的変遷について学び、保育内容について理解する。 ③観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども理解とのかかわりについて学ぶ。 ④養護と教育が一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。 ⑤保育の多様な展開について具体的に学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 「幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領原本」				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 日本の年中行事について学び、由来や伝統行事を引き継ぐ意義を理解する。 【授業内容】 年中行事について(個人・グループワーク)			9	【到達目標】 夏祭り本番を想定したリハーサルが出来る。 【授業内容】 夏祭りリハーサル《実行》(中間試験)		
2	【到達目標】 保育現場で行われている季節行事(年中行事等)について知り、行事と子どもの育ちの関連性を理解する。 【授業内容】 保育園の行事について(個人・グループワーク)			10	【到達目標】 夏祭り本番を想定したリハーサルが出来る。 【授業内容】 夏祭りリハーサル《評価》(中間試験)		
3	【到達目標】 夏祭りの計画を立て、実施に向けて準備することが出来る。 【授業内容】 夏祭り準備《計画》			11 8月21日	【到達目標】 リハーサルを通して得た改善点について話し合い、本番に向けて再度準備を進める事が出来る。 【授業内容】 夏祭り準備《改善》		
4	【到達目標】 夏祭りの計画を立て、実施に向けて準備することが出来る。 【授業内容】 夏祭り準備《計画》			12	【到達目標】 リハーサルを通して得た改善点について話し合い、本番に向けて再度準備を進める事が出来る。 【授業内容】 夏祭り準備《改善》		
5	【到達目標】 夏祭りの計画を立て、実施に向けて準備することが出来る。 【授業内容】 夏祭り準備《計画》			13	【到達目標】 計画・準備してきた夏祭りを実施し、保育者となってイベントを運営する。 【授業内容】 夏祭り実施《実行》(定期試験)		
6	【到達目標】 夏祭りの計画を立て、実施に向けて準備することが出来る。 【授業内容】 夏祭り準備《計画》			14	【到達目標】 計画・準備してきた夏祭りを実施し、保育者となってイベントを運営する。 【授業内容】 夏祭り実施《実行》(定期試験)		
7	【到達目標】 夏祭りの計画を立て、実施に向けて準備することが出来る。 【授業内容】 夏祭り準備《計画》			15	【到達目標】 計画・準備してきた行事を模擬実践し、PDCAサイクルを意識した振り返りを行うことが出来る。 【授業内容】 本科目の振り返り(定期試験)		
8	【到達目標】 夏祭り本番を想定したリハーサルが出来る。 【授業内容】 夏祭りリハーサル《実行》(中間試験)			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	教育原理 Basic Study for Child Education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 5限
学科・コース	保育士科(夜間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営に携わった経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
教育の意義、歴史、現代教育の目的、教育がもたらす効果、教育に関わる時事問題、世界の教育等について、講師の経験を織り交ぜながら講義・演習を行う。受講者の主体性と表現能力を伸長する授業や活動を行う。また現場で必要な小学校・中学校レベルの学習について、演習を行う。							
【到達目標】							
1. 教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等との関わりについて理解する。2. 教育の思想と歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理論について理解する。3. 教育の制度について理解する。4. 教育実践の様々な取り組みについて理解する。5. 生涯学習社会における教育の現状と課題について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 新基本保育シリーズ「教育原理」				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 教育の意義と目的について理解する。 【授業内容】 ①教育の意義と目的について②小学校の国語1 1年生の国語 漢字 日づけと曜日 おおきなぐ			9	【到達目標】 時事問題:幼児教育・学校教育について1 【授業内容】 ①後半は、みなさんが興味関心を持つ、教育問題について調べます。②小学校の国語4 小学校5,6年生の国語から		
2	【到達目標】 幼児教育の目的と必要性を理解する。 【授業内容】 ①幼児教育と早期教育の違い②小学校の算数1 1年生の算数 いくつといくつ たし算 ひき算			10	【到達目標】 時事問題:幼児教育・学校教育について2 【授業内容】 ①後半は、みなさんが興味関心を持つ、教育問題について調べます。②小学校の算数4 小学校5,6年生の算数から		
3	【到達目標】 教育に関する法律を知り理解する。 【授業内容】 ①教育に関する法律②小学校の国語2 2年生の国語 ようすをあらわすことば かん字の広場 スイミー			11	【到達目標】 時事問題:幼児教育・学校教育について3 【授業内容】 ①後半は、みなさんが興味関心を持つ、教育問題について調べます。②中学校の国語1 中学校の国語から		
4	【到達目標】 日本の教育思想と歴史を理解する。 【授業内容】 ①日本の教育思想と歴史②小学校の算数2 2年生の算数 時こくと時間 九九			12	【到達目標】 時事問題:幼児教育・学校教育について 討論1 【授業内容】 ①後半は、みなさんが興味関心を持つ、教育問題について発表・討論します ②中学校の数学1 中学校の数学から		
5	【到達目標】 世界の教育思想と歴史を理解する。 【授業内容】 ①世界の教育思想と歴史②小学校の国語3 小学校3、4年生の国語から			13	【到達目標】 時事問題:幼児教育・学校教育について 討論2 【授業内容】 ①後半は、みなさんが興味関心を持つ、教育問題について発表・討論します ②中学校の国語2 中学校の国語から		
6	【到達目標】 諸外国の教育制度と特徴を理解する。 【授業内容】 ①諸外国の教育制度と特徴②小学校の算数3 小学校3、4年生の算数から			14	【到達目標】 今までの学習について振り返り、理解を深めることができる。 【授業内容】 ①学習の振り返り。②中学校の数学2中学校の数学から		
7	【到達目標】 日本と諸外国の教育の違いを理解する。 【授業内容】 ①日本と諸外国の教育の違い②小学校入試問題			15	【到達目標】 授業1～授業14を振り返り、定期試験を受けることができる。 【授業内容】 授業1～授業14を振り返り、定期試験を受けることができる。		
8	【到達目標】 授業1～7までの内容を振り返る。 【授業内容】 今までの学習の振り返り 中間テスト 15点満点			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。							

科目名 (英)	乳児保育 II	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	八木 ゆかり
	Infant nursing Care II	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科(夜間主コース)					曜日・時間	火曜 6限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
障がい児者施設、保育所保育士、保育園園長、保育アドバイザー、保護者支援等「保育・教育・福祉」分野での経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
「保育・教育・福祉」分野での経験を活かし、現場力(柔軟な対応、実践的な支援・チーム力等)の知識・技術をグループワーク・実践事例を中心に習得できる授業を行う 3歳未満児の発達の特徴を踏まえた基本的な援助やかかわりについて理解し、養護と教育の一体性を踏まえた乳児保育の基本を理解する。乳児期の保育が子どもの生きる力の基礎を養うことを踏まえ、適切な指導計画を立てられるようになる。乳児保育の専門性が社会に求められる意義を理解し、現場人としてのスキルを身に付ける。							
【到達目標】							
1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 3. 乳児保育における配慮の実践について、具体的に理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・乳児保育演習ブック[第2版] ・保育所保育指針ハンドブック2017年告示				【授業外における学習】 授業の振り返りとして、日常の中で3歳未満児に関わる機会を作ったり、意識して観察する			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 乳児保育の情緒発達を理解し、適切な支援方法を考察する 【授業内容】 ・情緒の発達段階と保育士とのかかわりを学ぶ			9	【到達目標】 ・発達に応じたあそびの発展的な支援方法を理解する 【授業内容】 ・安全に配慮したおもちゃの製作		
2	【到達目標】 ・乳児に適した絵本の選び方と読み聞かせの効果を理解する 【授業内容】 ・年齢に応じた絵本を選び、読み聞かせの方法を考察する(グループワークにて)			10	【到達目標】 ・午睡時の導入として、素話を学ぶ 【授業内容】 ・題材になる絵本を選定する(グループワーク)		
3	【到達目標】 ・視覚的教材(手袋シアター)の基礎を理解し、製作する 【授業内容】 ・手袋シアターを製作する			11	【到達目標】 ・子どもの年齢に応じた素話の題材を考え、作成する 【授業内容】 ・グループワークにて素話に関する対象年齢・ねらい・環境構成を考え、指導案を作成する		
4	【到達目標】 ・手袋シアターを製作する 【授業内容】 ・手袋シアターを製作する			12	【到達目標】 ・発表に向けて作成した素話の練習を行う 【授業内容】 ・発表に向けて作成した素話の練習を行う		
5	【到達目標】 ・指導案を作成し、発表に向けて練習を行う 【授業内容】 ・手袋シアターを製作する ・グループワークにて指導案を作成する			13	【到達目標】 ・素話の実技発表を実践し表現する 【授業内容】 ・定期テスト 実技発表(前半)		
6	【到達目標】 ・グループワークにて指導案を作成し、発表に向けての練習をする。 【授業内容】 ・手袋シアターを製作する ・グループワークにて指導案を作成する			14	【到達目標】 ・素話の実技発表を実践し表現する 【授業内容】 ・定期テスト 実技発表(前半)		
7	【到達目標】 ・手袋シアターを実践し、表現力を発揮する 【授業内容】 ・中間テスト 手袋シアター実技発表(前半)			15	【到達目標】 14回の授業を振り返り、学んだことを記述する 【授業内容】 定期テスト 筆記試験		
8	【到達目標】 ・手袋シアターを実践し、表現力を発揮する 【授業内容】 ・中間テスト 手袋シアター実技発表(後半)			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 現役の保育士や園長を招き、リアルな現場のお話を聴いた上で一問一答形式で質疑応答を行い、現場に必要なスキルや心得を学ぶ							

科目名 (英)	保育内容総論 Early Childhood Education Curriculum	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	遠藤 美樹
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 7限
学科・コース	保育士科(夜間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士資格、幼稚園教諭取得後、保育園で10年勤務し2024年から埼玉福祉保育医療専門学校の保育科で保育内容演習、保育内容実践の授業経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、保育所保育指針における「保育の目標」等を理解し、保育内容について全体的な構造を学ぶ。子どもの発達に合わせた保育の計画・実践・評価について実践的に学び、保育や子ども理解を深めていく。							
【到達目標】							
①保育所保育指針における「保育の目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解し、保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。 ②保育内容の歴史的変遷について学び、保育内容について理解する。 ③観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども理解とのかかわりについて学ぶ。 ④養護と教育が一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。 ⑤保育の多様な展開について具体的に学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 授業の進め方を知る。 素材が持っている特性を知り、遊びの幅を広げる。 【授業内容】 オリエンテーション 素材遊び・感触遊び			9	【到達目標】 【授業内容】 大山先生担当		
2	【到達目標】 後期スケジュールを確認し、自身の行動計画を立てることができる。 【授業内容】 ポートフォリオ作成			10	【到達目標】 自分が設定した保育の場面でシアターを実践する。 演じ方や作った物に工夫が見られ見ている側も一緒に楽しめる空間を作る 【授業内容】 中間試験：シアター発表		
3	【到達目標】 日誌の書き方を知り、保育現場を見ながら書く練習をする。 保育者のねらい・関わり方の意味を考える。 【授業内容】 うた→1歳9月制作『とんぼのめがね』 日誌作成			11	【到達目標】 自分が設定した保育の場面でシアターを実践する。 演じ方や作った物に工夫が見られ見ている側も一緒に楽しめる空間を作る 【授業内容】 中間試験：シアター発表 保育実践の指導案作成		
4	【到達目標】 日誌の書き方を知り、保育現場を見ながら書く練習をする。 保育者のねらい・関わり方の意味を考える。 【授業内容】 5歳 シアター・ルール遊び 日誌作成			12	【到達目標】 設定年齢や保育者の願いを意識した保育実践を計画する。 本番に間に合うよう準備を計画的に行う。 【授業内容】 保育実践準備		
5	【到達目標】 シアターの作り方を覚え、何を伝えたいか、どの場面で使いたいかを明確にし子どもが楽しめるようなものを作成する。 【授業内容】 シアター鑑賞 パネルシアターorペープサート計画書作成			13	【到達目標】 指導案に基づいた保育実践を行う。 表情や言葉遣いを意識し、対象年齢に合った関りを心掛ける。 【授業内容】 定期試験： 保育実践(ルール遊び)・日誌作成		
6	【到達目標】 シアターの作り方を覚え、何を伝えたいか、どの場面で使いたいかを明確にし子どもが楽しめるようなものを作成する。 【授業内容】 シアター作成			14	【到達目標】 指導案に基づいた保育実践を行う。 表情や言葉遣いを意識し、対象年齢に合った関りを心掛ける。 【授業内容】 定期試験： 保育実践(ルール遊び)・日誌作成		
7	【到達目標】 シアターの作り方を覚え、何を伝えたいか、どの場面で使いたいかを明確にし子どもが楽しめるようなものを作成する。 【授業内容】 シアター作成			15	【到達目標】 実習の意義について考え、実習準備を進めることが出来る。 【授業内容】 実習準備		
8	【到達目標】 実習の意義について考え、実習準備を進めることが出来る。 【授業内容】 実習準備			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							
毎回の授業で必要に応じて保育所保育指針ハンドブックを使用する。							

科目名 (英)	図工 Arts and crafts education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	川口 麗
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 5・6限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
美術科修士課程修了。美大予備校、カルチャー教室、自宅アトリエ、幼稚園アート教室にて、大人や子どもの創作活動に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、子どもの表現力や創造力を育むための基礎知識を学ぶ制作演習である。 美術教育の立場から、現状や観点を伝える。							
【到達目標】							
・発達段階に応じた絵画造形の基礎を学び、創作活動を適切に指導する技術を身に付ける。 ・材料や画材の知識を深め、表現に適した選択ができる。 ・表現の楽しさを学び、伝えることができる。他者の表現に寄り添うことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 教員の指示に従い準備をすること(スケッチブック、画材など)				【授業外における学習】 想像力を広げたい。日常の中で興味深く観察する視点を持ち制作に活かす。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 幼児の表現に関心を持ち、画材の種類を知る。スケッチブックシアター、マジックシアター、動く工作について知る。 【授業内容】 講義 「前期の振り返り。作品紹介。講師による実演。」			9	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「アクリル画」		
2	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「紙版画」			10	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作」①構想を考えながら、下描き。		
3	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「絞り染め」			11	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作」②着彩、仕掛け作業。		
4	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「飛び出すカード」			12	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作」③着彩、仕掛け作業。		
5	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「変わり絵、マジックシアター」			13	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作」④着彩、仕掛け作業。		
6	【到達目標】 紙ねんどの特性をふまえ、材料と技法を知る。 【授業内容】 演習 「紙ねんど制作」			14	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作」⑤着彩、仕掛け作業。		
7	【到達目標】 イメージを様々なパーツと組み合わせ、一つの世界を表示する。 【授業内容】 演習 「コラージュ」			15	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践を通し、一冊の本にする。他者の作品を観覧し今後の参考にすることができる。 【授業内容】 演習 「絵本制作、 展示会」 定期試験。		
8	【到達目標】 道具と技法を知る。アートセラピーを体験する。 【授業内容】 演習 臨床美術課題「色のアラベスク」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 他者の表現に興味を持ち観察してみよう。							

科目名 (英)	音楽 Music	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	浅子 元・柿沼 秀子
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 5・6限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士養成校にて24年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を16年行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、音楽的基礎力(楽典)に注力し保育者として必要とされる音楽技術を学ぶ。基本、毎回の授業でピアノの練習とレッスンをを行い、前期でバイエルピアノ教則本の80番までを仕上げることを目指す。							
【到達目標】							
・保育者、教育者として必要な基礎的な音楽の技術と理論を習得する。 ・「ピアノを使って楽しく音楽が指導できる人を養成する」を授業の目標とする。 ・バイエルピアノ教則本80番まで習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「こどものうた200」チャイルド社 ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社				必要な事項は次回の授業までに十分習得しておくことを求めます。ピアノは毎日少しでも練習を積むことが必要です。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い後期の到達目標を理解する。前期試験の振り返り。生活の歌「さよならのうた」の習得。 【授業内容】 後期の授業のオリエンテーションを行い、年度末の自分の到達点をイメージできるようにする。「とんぼのめがね」。			9	【到達目標】 ピアノ曲の練習と習得をする。 【授業内容】 ピアノ練習曲(バイエル)を進める。「あわてんぼうのサンタクロース」、「ジングルベル」。		
2	【到達目標】 バイエルピアノ教則本の習得。 【授業内容】 「バイエルの作品」を1曲しっかり仕上げる。「世界中のこどもたちが」。			10	【到達目標】 保育の音楽活動の疑似体験をする。 【授業内容】 保育の一場面を想定したロール・プレイングができる①。「お正月」。		
3	【到達目標】 生活の歌の習得をする。「おはようのうた」、「あさのうた/D」。 【授業内容】 「生活のうた」を1曲ずつしっかり仕上げる。「おはようのうた」を弾き歌いできるようにする。「どんぐりころころ」、「まつぼっくり」。			11	【到達目標】 保育の音楽活動の疑似体験をする。 【授業内容】 保育の一場面を想定したロール・プレイングができる②。「まめまき」。		
4	【到達目標】 季節の歌(秋)の習得をする。 【授業内容】 「秋の季節のうた」を練習し1曲弾き歌いが出来るようになる。「やきいもグーティーパー」、「大きなくりの木の下で」。			12	【到達目標】 定期試験を展望しピアノ曲の練習と習得をする。 【授業内容】 ピアノのレッスンと試験対策。「うれしいひなまつり」。		
5	【到達目標】 正しい発声と音程の理解が出来る。 【授業内容】 歌唱:正しい発声と音程で歌うことが出来る。「きのこ」。			13	【到達目標】 季節の歌(冬、春)を習得し、1曲弾き歌いが出来る。 【授業内容】 弾き歌い曲の練習とレッスンと試験対策。「思い出のアルバム」、「春がきた」。		
6	【到達目標】 生活の歌の習得をする。 【授業内容】 1年生のうちに生活の歌を6曲完成させる。今日で5曲完成する。「どんぐりころころ」、「たきび」。			14	【到達目標】 後期定期試験の準備。 【授業内容】 試験曲の練習をして定期試験に備える。「一年生になったら」。		
7	【到達目標】 ピアノ曲の習得、季節の歌(秋)の練習をする。 【授業内容】 今練習しているピアノ曲を仕上げる。秋の歌の練習をする。「森のくまさん」、「ゆき」。			15	【到達目標】 定期試験を実施。1年間の到達状況を判断する。歌に合わせて季節の歌がピアノで演奏できる。 【授業内容】 後期で学習したピアノ曲1曲。後期で学習した季節の歌を1曲ピアノ演奏。合計2曲を演奏する。課題曲の中から1曲選ぶ。		
8	【到達目標】 中間試験を行い、前期前半の到達度を理解する。 【授業内容】 「季節のうた」を1曲仕上げいつでも弾き歌いができるようになる～秋の歌～。「たきび」。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	英会話 English Conversation	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
	学科・コース 保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 7限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営に携わった経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
日常で使う英語表現を学びながら、保育士・幼稚園教諭が現場で必要とする英語・英会話に特化した学習を行う。具体的には、幼児教育で使われる英語表現、英語の歌、英語のゲーム、パンフレット作成、保育現場で想定される英会話、英語の読み聞かせ・紙芝居、英語を用いた製作活動、英語劇などである。また校外に出て英語でインタビュー、動画作成などを行うこともある。							
【到達目標】							
・外国語学習を通して、異言語や異文化への抵抗意識が少なくなる。 ・日常会話および児童福祉分野に関する基礎的な英会話力を習得する。 ・外国語学習や活動を通して、異なったものを認め、それを受け入れる態度を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
必要資料は授業時に教員が配付する。授業後に個人の所有物になる制作作品については各自材料の準備を願う。決められたテキスト等の使用はない。				予習や復習、資料準備・制作材料などは事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 英語で身の周りのことを話そう① 【授業内容】 「夏休みの思い出」を英語で紹介しよう。 歌:アニメソング その他			9	【到達目標】 英語の絵本の読み聞かせができる。① 【授業内容】 英語の絵本の読み聞かせをする。		
2	【到達目標】 英語で身の周りのことを話そう② 【授業内容】 「転入生が入って来た!」を英語で紹介しよう。「入園申込書」の書き方 歌:アニメソング その他			10	【到達目標】 クリスマスカードを英語で書くことができる。サンタクロースに手紙を書く。 ※ご家族の手紙の同封可 【授業内容】 クリスマスカード・サンタクロースへの手紙を書く。カナダサンタかドイツサンタかはその時に決定する。		
3	【到達目標】 市販の英語のゲームを説明書を見ながらやってみよう。 英語版「人生ゲーム」 歌:適時決定 【授業内容】 英語版「人生ゲーム」をやりながら英語のゲームに慣れる。			11	【到達目標】 英語の絵本の読み聞かせができる。② 【授業内容】 英語の絵本の読み聞かせをする。 発表を行う。		
4	【到達目標】 市販の英語のゲームを説明書を見ながらやってみよう。 英語版「人生ゲーム」 歌:適時決定 【授業内容】 英語版「人生ゲーム」を真剣にやってみよう。順位も決める。			12	【到達目標】 シュタイナー教育の「キャンドルグラス」を制作する。外国の文化に触れる。 【授業内容】 シュタイナー教育の「キャンドルグラス」を制作して、歌をうたう。撮影も行う。		
5	【到達目標】 こどもの様子を英語で表現できる。 この日の歌は、実態に合わせて決定。 【授業内容】 絵を見て、こどもの活動の様子を理解し、英語で書く・話す。			13	【到達目標】 楽しいパーティを企画してみよう。初めての「英語活動指導案」を書く① 【授業内容】 楽しいパーティを企画する初めての「英語活動指導案」を書く。次週、それを実際に行ってみる。		
6	【到達目標】 英語の歌 合唱コンクール① 【授業内容】 チームごとに英語の合唱曲を決めて練習する。			14	【到達目標】 楽しいパーティを企画してみよう。初めての「英語活動指導案」を書く② 【授業内容】 「英語活動指導案」を書いた活動を実際に行ってみる。		
7	【到達目標】 英語の歌 合唱コンクール② 【授業内容】 練習。			15	【到達目標】 後期授業1～14までの内容で、定期試験を行い、身につけた英語力を十分に発揮する。 【授業内容】 後期授業1～14までの内容で、定期試験を行う。試験内容の詳細は事前に発表する。		
8	【到達目標】 英語の歌 合唱コンクール③ 【授業内容】 練習と本番撮影。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。							

科目名 (英)	子どもの食と栄養 Nutrition for children	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	六角 はち美
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 5限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 20年以上にわたり病院(産婦人科、小児科)・保育園・介護施設での栄養管理をはじめ、調理・献立作成や衛生管理・食育教室・発注作業・栄養相談など幅広い経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 栄養学は体と食の関係性を学ぶ事が大切です。自分の体の中で起こっていることにまずは興味を持てるように、日常で行える体の変化を体験していただきます。五大栄養素とはそれぞれどんな役割を持っていて、体に吸収される流れはどんな物なのかを体系的に学び、食べ物体がの一部になったり、エネルギーとして使われたりなどリアルに理解できるように身近な食材を使ってイメージしやすいように授業を進めて行きます。							
【到達目標】 1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得する。 2. 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 3. 養護及び教育の一体性を踏まえた保育における食育の意義・目的、基本的考え方、その内容等について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 日々自分の食事と体調の変化に意識を向け食と身体とのつながりをリアルに感じる。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育士が食と栄養を学ぶ意義を理解し1年間の目標を見いだせる。 食事が体調に関わってくることを理解する。 【授業内容】 オリエンテーション(栄養とは？導入の授業を行う) 自分の食事を書き出し、自分の食習慣と向き合う。			9	【到達目標】 脂質(油脂類)の特徴を知り意味を持って選べるようになる。 【授業内容】 脂質(油脂類)について種類・特徴について学ぶ		
2	【到達目標】 食事バランスガイドが使える。 調理実習の動きがイメージできる。 【授業内容】 食事バランスガイドを実際を使って自分の食事バランスを確認する。 実習に向けて衛生管理について確認し、実習内容についての説明を行う。			10	【到達目標】 子どもと月見団子が作れるようになる 【授業内容】 調理実習		
3	【到達目標】 おにぎりや味噌汁が作れるようになる 【授業内容】 調理実習			11	【到達目標】 子どもと月見団子が作れるようになる 【授業内容】 調理実習		
4	【到達目標】 おにぎりや味噌汁が作れるようになる 【授業内容】 調理実習			12	【到達目標】 次回の実習の成功イメージが出来る様になる。 第9回～12回授業についてしっかりと説明できる。 【授業内容】 実習の振り返りをし、次回の実習のイメージをする。 第9回～12回授業についてしっかりと理解が出来ているか確認を行う。		
5	【到達目標】 糖質(穀類)の特徴を知り意味を持って選べるようになる。 【授業内容】 主食:糖質(穀類)について種類・特徴について学ぶ。 実習の振り返りをする			13	【到達目標】 子どもと手打ちうどんが作れるようになる 【授業内容】 調理実習		
6	【到達目標】 糖質(芋・砂糖)の特徴を知り意味を持って選べるようになる② 【授業内容】 主食:糖質(芋・砂糖類)について種類・特徴について学ぶ。			14	【到達目標】 子どもと手打ちうどんが作れるようになる 【授業内容】 調理実習		
7	【到達目標】 たんぱく質(肉・魚類)の特徴を知り意味を持って選べるようになる。 【授業内容】 主菜:たんぱく質(肉・魚類)について種類・特徴について学ぶ。			15	【到達目標】 第1回～14回授業についてしっかりと理解が出来ているか確認を行い、それぞれ説明できる。 【授業内容】 定期試験を行う。		
8	【到達目標】 第1回～7回授業についてしっかりと理解が出来ているか確認を行い、それぞれ説明できる。 【授業内容】 中間試験を行う。 たんぱく質(肉類・魚類・卵糖・大豆類)についてまとめを行う。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 日常での体調チェックを行うようにしていくと、栄養の授業がより興味をもってうけられるようになります。							

科目名 (英)	保育の計画と評価 Planning and evaluation for nursery care	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	山口 幸子
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 6限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
私立保育園で長年勤務しており、担任保育士・主任保育士を経て現在は園長として園運営・地域の保護者の多様な支援に携わる							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目では、保育における計画や評価について学ぶ科目である。実際に計画・実践・評価をする中で、様々な視点で保育を計画することの重要性や子どもの理解を深める重要性について学ぶ。現場経験を活かし、実際の保育現場においてどのように保育の計画・評価が行われているかエピソードを踏まえながら伝え、保育や保育現場のイメージが持てるよう授業を進める。							
【到達目標】							
1. 保育の内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解する。 2. 全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。 3. 子どもの理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)について、その全体構造を捉え、理解する。							
【参考教材】				【授業外における学習】			
・これからの時代保育者養成・実習ガイド ・保育所保育指針ハンドブックイラストたっぷり やさしく読み解く				授業内容に応じて、授業後もノートや配布プリントを振り返り、復習をし、学んだことを身につける。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 授業の内容や持ち物、評価について理解することが出来る。 保育における計画の意義を理解し、関心を持って学修に取り組む。 【授業内容】 オリエンテーション、保育計画の意義と必要性			9	【到達目標】 指導計画の作成について理解し、ポイントをまとめることが出来る。 【授業内容】 指導計画の作成について		
2	【到達目標】 保育における計画の種類、関係性を理解することが出来る。 保育計画の前提となる指針・要領について確認をする 【授業内容】 保育計画の種類と指針・要領			10	【到達目標】 読み聞かせを保育に取り入れる意味を理解し、実践時の留意点の確認をする。指導計画作成を視野に入れた絵本選びが出来る。 【授業内容】 絵本の読み聞かせについて 指導計画の作成		
3	【到達目標】 子どもの姿から子どもの心情を読み取り、自分の考えを共有することが出来る。 【授業内容】 子ども理解			11	【到達目標】 絵本の教材研究を行い理解を深めたうえで、指導計画を作成することが出来る。 【授業内容】 教材研究に基づいた指導計画作成		
4	【到達目標】 保育における環境の重要性を理解し、保育者の意図を踏まえた保育計画の作成を意識することが出来る。 【授業内容】 保育環境と保育者の意図			12	【到達目標】 自身の実習先のことを調べ、実際の実習で行う保育の指導計画を考えることが出来る。 【授業内容】 実習での指導計画について		
5	【到達目標】 保育者の関わりや行動から意図を考えることが出来る。 【授業内容】 保育者の関わりや行動と意図			13	【到達目標】 指導計画に基づき実践し、実践から保育や指導計画を振り返ることが出来る。 【授業内容】 指導計画を元にした保育実践と評価		
6	【到達目標】 記録の意義と基本的な考え方について理解することが出来る。 日誌を書く時のポイントや書き方を学び、記録することが出来る。 【授業内容】 記録の意義と作成			14	【到達目標】 指導計画に基づき実践し、実践から保育や指導計画を振り返ることが出来る。 【授業内容】 指導計画を元にした保育実践と評価		
7	【到達目標】 保育所における一日の流れ・時系列での記録の取り方を理解し、保育者の援助について考えを記述することが出来る。 【授業内容】 保育の一日の流れ・時系列の作成			15	【到達目標】 指導計画作成に必要な知識を理解する。また、保育の留意点や保育者の援助を踏まえ、保育を計画・評価することが考えられる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 保育における評価の意味を知り、多様な評価方法を理解することが出来る。 【授業内容】 中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	カウンセリング理論 counseling theory	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	中村 夏海
	学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
臨床心理士、公認心理師。児童養護施設の入所児童へのプレイセラピー、教育支援センターにて子どもとのカウンセリングや知能検査、行動観察、相談支援の経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を学習する。 保育実践にかかわるカウンセリングの知識や心の病気について、実践的に学習する。 内省やグループワークの機会を設ける中で、一人ひとりが自己理解と他者理解を深化させ、チームマネジメントの基礎を学び、保育実践場面での素養を醸成する。							
【到達目標】							
対人援助職としてのカウンセリング・マインドの重要性を理解する。 カウンセリングの仕組みを理解し、コミュニケーション活動や援助に役立てる。 カウンセリングの諸理論とプレイセラピーの意義を理解し、傾聴を中心とした対人援助技術を知る。							
【参考教材】 講師が資料を提示する。				【授業外における学習】 心理学の専門用語が出てくるため、分からない用語は調べてください 必要に応じて、予習復習、事前準備をお願いすることがあります			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 カウンセリングの理解 【授業内容】 オリエンテーション、カウンセリングとは			9	【到達目標】 カウンセリングの実践 【授業内容】 カウンセリングの傾聴①そのまま受け取る、うなずく、繰り返す		
2	【到達目標】 カウンセリングの理解 【授業内容】 カウンセリングの方法(面接、観察、検査)、カウンセリングの3原則			10	【到達目標】 カウンセリングの実践 【授業内容】 カウンセリングの傾聴②客観的に聞く、自分と重ねる、ズレを感じ取る		
3	【到達目標】 カウンセリングの理解 【授業内容】 ラポール形成、受容と共感			11	【到達目標】 カウンセリングの実践 【授業内容】 カウンセリングの傾聴③質問する、要約する		
4	【到達目標】 カウンセリングの理解 【授業内容】 子どものカウンセリング(プレイセラピー)			12	【到達目標】 カウンセリングの実践 【授業内容】 保護者とのやりとり		
5	【到達目標】 プレイセラピーとアセスメントの理解 【授業内容】 遊びの表現を遊びの中で受け止める			13	【到達目標】 カウンセリングに必要な自己理解 【授業内容】 自分の気持ちに気が付く、考え方や感じ方の癖を知る、バーンアウトとセルフケア		
6	【到達目標】 プレイセラピーとアセスメントの理解 【授業内容】 発達障害(特性)について			14	【到達目標】 これまでの授業を振り返る 【授業内容】 定期試験に向けたこれまでの授業の振り返り、質疑応答		
7	【到達目標】 プレイセラピーとアセスメントの理解 【授業内容】 「気になる」ことに気が付く			15	【到達目標】 振り返り 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返る 【授業内容】 中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	総合福祉技術(介護) Basic Nursing Care	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	高橋 亜希子
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 金曜 5限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 特別養護老人ホームに併設されている「デイサービス」の勤務を経て、現在は「リハビリテーション病院」で看護助手として従事。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 介護の基礎を学び、介護技術を習得する。また、学んだ内容を実際の「演習」で確認し、身体機能や状態に合わせ、お互いの「安全、安楽、安心、自立、尊厳」を心掛けた介護技術の習得する授業を行う。							
【到達目標】 常に「利用者様」の立場に立って「支援」できるようになり、自ら進んで行動することができ、「介護支援」は、身体介護をするものだけではないことが理解できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい服装 室内履き 髪の毛・爪など介護支援に相応しい身だしなみを整えて出席すること。				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 お互いの自己紹介を行うことで、コミュニケーションを図る。 【授業内容】 オリエンテーション 授業の進め方と評価の方法についての説明を行う。介護のイメージを教えてください。			9	【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「起き上がり」の介助を習得することができる。 【授業内容】 起き上がりの介助・・・常に声掛けを意識し、「臥床」⇒「座位」⇒「立位」の手順を習得する。		
2	【到達目標】 環境整備の意味を理解し、効率的なベットメイキングとシーツ交換の手順を習得することができる。 【授業内容】 環境整備とベットメイキング・・・ボディメカニクスをいかした介護技術を習得するために、シーツ交換の際の体の動かし方を意識する。			10	【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「歩行」の介助を習得することができる 【授業内容】 移動と移乗の介助・・・ボディメカニクスを意識した「歩行」の介助を習得することができる		
3	【到達目標】 「声掛け」を意識することで、「安全、安心、安楽、自立、尊厳」を理解することができる。 【授業内容】 ベット上に利用者様が臥床したままのシーツ交換・・・声掛けを意識して、いろいろな体位を覚えながらシーツの交換を行う。			11	【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「移乗」の介助を習得することができる 【授業内容】 移動と移乗の介助①・・・ボディメカニクスを意識した「車いすへの移乗」の介助を習得することができる		
4	【到達目標】 「脱健着患」を理解することができる。 【授業内容】 衣類の着脱①・・・座ったままの状態で利用者様の「衣類の着脱」を行う。(上着のみ)			12	【到達目標】 声掛けを意識した介助を行うことで、より現場に適した技術を習得することができる。 【授業内容】 移動と移乗の介助 ②・・・ボディメカニクスを意識した「車いすへの移乗」の介助を習得することができる		
5	【到達目標】 声掛けを意識した「着脱」を行うことができる。 【授業内容】 衣類の着脱②・・・ベットに寝たままの状態で利用者様の「衣類の着脱」を行う。			13	【到達目標】 声掛けを意識した介助を行うことで、より現場に適した技術を習得することができる。 【授業内容】 実際の「利用者」がいることを意識しながら「移乗の介助」を行う		
6	【到達目標】 色々な形状の衣類の「着脱方法」を習得することができる。 【授業内容】 衣類の着脱・・・③・・・座ったままの状態で利用者様の「衣類の着脱」を行う(上下) 被りの衣類			14	【到達目標】 学習内容を振り返ることで、自分に足りない技術を確認することができる。 【授業内容】 「期末テスト」へ向けての振り返り		
7	【到達目標】 学習内容を振り返ることで、自分に足りない技術を確認することができる。 【授業内容】 「中間テスト」へ向けての振り返り。			15	【到達目標】 【授業内容】 期末テスト		
8	【到達目標】 「中間テスト」を行うことで、前期の学習理解の状態を知る事ができる。 【授業内容】 「中間テスト」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	社会的養護Ⅰ InstitutionⅠ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	小熊 永枝
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 金曜 6限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 児童養護施設の職員として28年の勤務経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、社会的養護の意義や制度、実施体系について学ぶ。子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解するとともに、社会養護の現状や課題について、主体的に考察する力を養う。 担当教員のこれまでの現場経験の事例も紹介しながら、具体的にわかりやすい説明を行い、時に学生に考える時間を設け、より深く理解できる授業を行う。							
【到達目標】 1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。2. 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。3. 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。4. 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。5. 社会的養護の現状と課題について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「新基本保育シリーズ⑥社会的養護Ⅰ」中央法規 ・資料・DVDなど				【授業外における学習】 授業を受けるに当たり、専門用語の下調べなどの予習や授業後の復習を行い、授業内容を深く理解する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 社会的養護とは何か」社会的養護の概念について理解する。 【授業内容】 社会的養護の理念と概念			9	【到達目標】 予防的支援、在宅措置、代替養育を必要とする子ども達や家族がどのようなニーズを抱えているか認識し、理解する。 【授業内容】 社会的養護の対象と支援のあり方		
2	【到達目標】 社会的養護の歴史の変遷について学び、欧米・日本の社会的養護の歴史を理解する。 【授業内容】 社会的養護の歴史の変遷			10	【到達目標】 社会的養護施策の動向、里親やファミリーホーム等、家庭養護と施設養護の現状と課題、共通点と相違点を理解する。 【授業内容】 家庭養護と施設養護		
3	【到達目標】 社会的養護における子どもの人権擁護のとらえ方や、具体的養護のあり方を検討し、虐待の防止や対応を理解できる。 【授業内容】 子どもの人権擁護と社会的養護			11	【到達目標】 現場で働く専門職や実施者の業務内容、求められる専門性について学び、理解する。 【授業内容】 社会的養護に関わる専門職		
4	【到達目標】 社会的養護の基本原則である「家庭養護優先原則」を学び、その根拠となる法律や条例等を理解できる。 【授業内容】 社会的養護の基本原則			12	【到達目標】 社会的養護で暮らす子ども達の背景について理解する。また、施設等の運営に関わる内容と費用の仕組みやあり方を知る。 【授業内容】 社会的養護に関わる社会的状況、施設等の運営管理の現状と課題		
5	【到達目標】 倫理や社会生活上の行動規範を学び、社会的養護にかかわる専門職の倫理と責務について理解する。 【授業内容】 社会的養護における保育士等の倫理と責務			13	【到達目標】 被措置児童等の虐待とは何かを理解し、被措置児童等の虐待防止の経緯をみて、その発生要因と課題について理解する。 【授業内容】 被措置児童等虐待防止の現状と課題		
6	【到達目標】 「措置制度」とその背景原理、児童福祉法の概要、関連法規について学び、日本の社会的養護の制度と法体系について理解する。 【授業内容】 社会的養護の制度と法体系			14	【到達目標】 これまでの授業で得た知識を定着させるために、内容をふりかえる。 【授業内容】 社会的養護概要		
7	【到達目標】 児童相談所から社会的養護の施設や里親家庭に至るまでのソーシャルワーク過程等を学び理解する。 【授業内容】 社会的養護のしくみと実施体系			15	【到達目標】 学んできた内容を定期試験にて確認する。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 ソーシャルワークについての基本的な視点や考え方を確認した上で、社会的養護におけるソーシャルワークの考え方を理解する。 【授業内容】 社会的養護とファミリーソーシャルワーク			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	子どもの健康と安全	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	皆川 紘子
	Health and safety for childhood	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分	後期 金曜 7限
学科・コース	保育士科(夜間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 救急看護認定看護師として新生児・乳児・幼児の看護に携わり、虐待対応や保護者対応、保育園へ訪問し保育士に対する指導などに携わっている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育士として子どもの健康の保持増進に必要な知識や技術の基礎を習得するための講義を行う。安心で安全が保障される保育を実施するために、子どもの命を預かる重要性和責任を自覚し、理解を深めてほしい。							
【到達目標】 1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。2. 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。3. 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する。4. 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における感染症対策について、具体的に理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 医療専門用語や難しい内容も多いので事前学習や予習をして講義を受け、毎回の「小テスト」を繰り返し行い学習内容の定着を目指して下さい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 子どもの健康と安全を学び理解することができる。			9	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。		
	【授業内容】 子どもの成長発達と健康 子供の健康に影響するもの 子どもを取り巻く環境と安全				【授業内容】 障害の概念		
2	【到達目標】 子どもの健康と子育てに必要な養護・しつけを学び理解することができる。			10	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。		
	【授業内容】 居住・施設環境・基本的生活習慣・基本生活習慣の確立 日常に必要な養護				【授業内容】 障害を伴う病気・症状とそのケア		
3	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。			11	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。		
	【授業内容】 子どもの事故の特徴				【授業内容】 精神的な障害(発達障害/神経症)とそのケア		
4	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。			12	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。		
	【授業内容】 事故やけがの理解と応急処置①				【授業内容】 特殊なケアの介助方法		
5	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。			13	【到達目標】 災害の影響から子どもをできるだけ守るを学び理解することができる。		
	【授業内容】 事故やけがの理解と応急処置②				【授業内容】 災害の種類と影響 災害に備えて		
6	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。			14	【到達目標】 地域との連携・協働を学び理解することができる。		
	【授業内容】 事故やけがの予防①				【授業内容】 子どもにかかわる地域ネットワークシステム・保護者と地域における専門職との連携・協働		
7	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。			15	【到達目標】 授業の内容の理解を深め定着することができる。		
	【授業内容】 事故やけがの予防②				【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 前半の授業を振り返り学び理解することができる。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】 授業内容により実技の追加や複数回で学習する内容に関しては変更もあるため授業コマシラバスを参考にしてください。							

科目名 (英)	保育実習Ⅰ(保育所) Nursery School PracticalⅠ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	実習	総単位 時間	80	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において保育・教育実習生への指導全般に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において保育・教育実習生への指導全般に携わる経験を持つ講師が実習の準備・実施・振り返りをするための授業の上で、実習現場へと導く。実習は子どもに直接接することの出来る機会であり、保育士の仕事を実際に体験できる貴重な機会でもある。保育の仕事の喜びを体感すると同時に、保育を体系的に理解すること、新たな課題に気づき保育者としての資質向上への意欲を持ち実習に臨むことを期待する。							
【到達目標】 1. 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。2. 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。3. 既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。4. 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「学生・養成校・実習園がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」				【授業外における学習】 実習日誌にその日の記録を記載し、実習園の指定する提出期限を守り提出すること。			
授業概要							
<保育所実習の内容> 1. 保育所の役割と機能 (1)保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり (2)保育所保育指針に基づく保育の展開 2. 子どもの理解 (1)子どもの観察とその記録による理解 (2)子どもの発達過程の理解 (3)子どもへの援助や関わり 3. 保育内容・保育環境 (1)保育の計画に基づく保育内容 (2)子どもの発達過程に応じた保育内容 (3)子どもの生活や遊びと保育環境 (4)子どもの健康と安全 4. 保育の計画・観察・記録 (1)全体的な計画と指導計画及び評価の理解 (2)記録に基づく省察・自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理 (1)保育士の業務内容 (2)職員間の役割分担や連携・協働 (3)保育士の役割と職業倫理 <実習にあたって> ・実習日は実習先の定める期間で、10日間80時間以上を行うこと。 ・実習にあたって学校での指導をうけるとともに、実習先の指示に従いオリエンテーションをうけること。							
【特記事項】 まず第一に健康に留意し実習に臨むこと。これまでの学習を振り返り、また現場を想定した予習に励み、利用児者の生活のうちにおける環境の一部としての自覚をもち実習に臨むこと。また実習中に不測の事態があった際は自己の判断をするのではなく、実習施設及び学校の担当職員へ確実に報告・連絡・相談を行い、指示を仰ぐこと。				【評価について】 学内での実習評価基準に基づき評価を行う。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			

科目名 (英)	保育実習指導Ⅰ Guidance for Institution Practical	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 集中
学科・コース	保育士科(夜間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において保育・教育実習生への指導全般に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において保育・教育実習生への指導全般に携わる経験を持つ講師が実習の準備・実施・振り返りをするための授業を行う。保育の仕事の喜びを体感すると同時に、保育を体系的に理解すること、新たな課題に気づき保育者としての資質向上への意欲を持ち実習に臨むことができるように基礎的な学びの振り返りと自己課題の明確化を段階的に行う授業である。							
【到達目標】 ①保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 ②観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。 ③既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。 ④保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「学生・養成校・実習園がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 実習全般について理解する事ができ、実習Ⅰ(保育所)についてイメージする事ができる。 【授業内容】 実習オリエンテーション 具体的な事例を基に、実習に向けて準備を始める			9	【到達目標】 実習生としての立場を弁えた立ち居振る舞い・実習へ臨む姿勢について理解することができる。 【授業内容】 実習前試験 実習壮行会		
2	【到達目標】 実習における留意事項を理解し、気構え心構えができる。 実習日誌の取り扱いを理解し記載することができる。 【授業内容】 実習における留意事項、実習日誌の記載			10	【到達目標】 実習の全貌を振り返り、10日間の学びを整理する。 【授業内容】 実習の自己評価		
3	【到達目標】 実習日誌について理解し、記入方法を獲得し模擬記入ができる。 【授業内容】 時系列の記入方法			11	【到達目標】 グループワークを通じて実習を振り返り、学びの共有を図る。 【授業内容】 実習の振り返り(グループワーク)		
4	【到達目標】 実習日誌について理解し、記入方法を獲得し模擬記入ができる。 【授業内容】 エピソード記録の書き方			12	【到達目標】 グループワークでの実習の振り返りまとめ、発表することができる。 【授業内容】 実習の振り返り(グループワーク)		
5	【到達目標】 指導案について理解し、記入方法を獲得し模擬記入ができる。 【授業内容】 指導案の書き方と実践を目指した準備・振り返り			13	【到達目標】 施設実習の意義・目的を理解し、分野理解を深めることができる。 【授業内容】 施設実習の意義・目的の理解		
6	【到達目標】 実習生としての立場を弁えた立ち居振る舞い・実習へ臨む姿勢について理解することができる。 【授業内容】 身だしなみの確認・持ち物の確認			14	【到達目標】 施設実習の意義・目的を理解し、分野理解を深めることができる。 【授業内容】 施設実習の意義・目的の理解		
7	【到達目標】 実習生としての立場を弁えた立ち居振る舞い・実習へ臨む姿勢について理解することができる。 【授業内容】 実習諸書類の取扱いと提出のマナー 電話と往訪時のマナー			15	【到達目標】 施設実習に向けての配慮事項を理解し、実習にあたっての課題や目標を考えることができる。 【授業内容】 施設実習における配慮事項、実習課題・目標		
8	【到達目標】 実習生としての立場を弁えた立ち居振る舞い・実習へ臨む姿勢について理解することができる。 【授業内容】 報道相 挨拶と返事の大切さ 職員間の連携と協働			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 必要な課題や提出物が滞ることの無いよう意識すること。不測の事態が起きた際には学校への報道相を徹底すること。							